

賛同会派の考え方

会派	考え方	基礎数	15万 9,999人	16万 4千人	16万 5千人	17万 1人
民主クラブ	偶数定数を基本とし、人口10万人までは20名。 10万人を超えた場合は、1万人ごとに1名増。 現在人口約16万4千人であれば27名、16万人を切れば26名。 2030年に16万人を下回る予測もあり、2031年選挙から基準が適用されるのではないかと。 人口比例の考え方なので、人口が増えれば増員もあり得る。 ・ 10万人 = 20名 ・ 以降1万人 = 1名で偶数調整	～10万人 20人	26人	28人	28人	28人
改革 フォーラム	人口10万人で20名を基礎とし、以後1万人ごとに1名増。 増減の適用は四捨五入で対応。 次回選挙では人口16万4千人であれば26名。 基準日の設定（年度末か年末か等）は協議が必要。 ・ 10万人 = 20名 ・ 以降1万人 = 1名 ・ 端数は四捨五入	～10万人 20人	26人	26人	27人	27人
会派市民	必要最小限の人数の10名を確保し、そのうえで1万人に対して1人加える。 計算の端数処理は「1～1万人で1人」といった数え方で、17万人台では28名、16万4千人なら27名、16万人を切れば26名といった減少幅で運用。 ・ 基礎数 = 10名 ・ 基礎数に加えて1万人ごと1名 ・ 端数は切り上げの考え方を含む	10人	26人	27人	27人	28人